

想定・目的

災害対策本部の決定により、大雨等により数時間後に市内全域に内水氾濫の恐れがあり、急遽、避難所開設を増やすこととなった。市は迅速な避難所受入れ体制を整える必要があるため、地域住民へ避難所開設を要請することとした。

目的

市の要請から60分間で、避難所開設を完了する。

参加人員

設営要員は8名（自主防4名、防災士4名）

- ・当日持参品等：上履き、マスク着用、当日の資料

市職員2名

- ・訓練の記録員とする（写真や時間を記録）※指示は出さない。
- ・最後に設営要員を集め、反省会を取りまとめる。※基本的に自主防で行う。要望があれば対応する。
- ・後日、レポートを危機対策課へ提出する。

市本部要員（部長級）2名 ※市長、副市長が視察予定

- ・現地を視察し、改善の検討材料を集める。
- ・設営後に一般避難者役をする。受付 → 体温測定 → 避難スペースに案内される → 問診票に記入 → 受付に提出
- ・訓練の講評をする。※検討中
- ・後日、アンケートを危機対策課へ提出する。

訓練の流れ

時間	概要	内容
9:30	市から要請	自治会長（防災部長）へ市より避難所開設を要請する。
9:55	体育館集合	ビブス着用、腕章着用（リーダー）。リーダーは点呼、各役割を確認（役割はリーダー1名、サブリーダー1名、その他）
10:00～10:30	避難所設営	時間で開始。作業は全員で。リーダーがシナリオ通り指示だし。各要員は作業完了後にリーダーに報告し次の指示を受ける。リーダーは進捗管理と各設営要員から報告を受けるため、全体が見渡せる位置で作業をする。※照明スイッチを確認
10:30	避難者受入れ	リーダーは設営完了後は入口周辺に全員を集め、受付等の役割を指示する。検温や案内動線を確認する。また、対策スペースの動線を確認する。（机上）
10:50～11:00	休憩	お茶などを配る。
11:00～11:20	訓練振り返り	感想は全員から。進行はリーダー・記録は市職員
11:20～11:50	撤収作業	全員で撤収。

レイアウト【〇〇学校体育館】

物品の保管場所 (2か所に限定)

- ・日赤倉庫 (パーティション・テント)
- ・体育館 (避難所開設用品、毛布等とか)

